

長期停止時経年劣化管理 説明事項 (案)

(1) ガイド骨子

・長期停止時の保全活動を確実にすることを促すため、これまでの保全実績から得られた知見やPLM評価(冷温停止時)、劣化影響技術レポート等を元に、長期停止時に考慮すべき経年劣化影響やその内容を踏まえた保全の考え方に関する推奨事項を提供する。また、プラント寿命に影響する可能性がある取替困難機器・構造物等については、長期停止時の経年劣化影響がプラント運転期間に及ぼす影響と、停止中の保全ポイントを提供する。

① 保管：停止時に機能要求がない機器・構造物等

(1) 保全の計画

A：保管対策・・・別添Bや、技術評価や運転経験で得られた長期停止時特有の劣化影響に関する知見(例：腐食、軸固着等)を踏まえ、「満水保管」「作動試験」等の保管対策を実施
B：起動前点検にて機能回復を図る

(2) 保管対策の有効性評価

(サンプル点検により保管対策の検証を実施、水質確認実施等)

② 保全：停止時に機能要求がある機器・構造物等

(1) 長期停止時の劣化影響に関する知見(例：弁絞り運用等)等を勘案し、適切な保全方式を選定し、追加点検を計画

(2) 保全の有効性評価

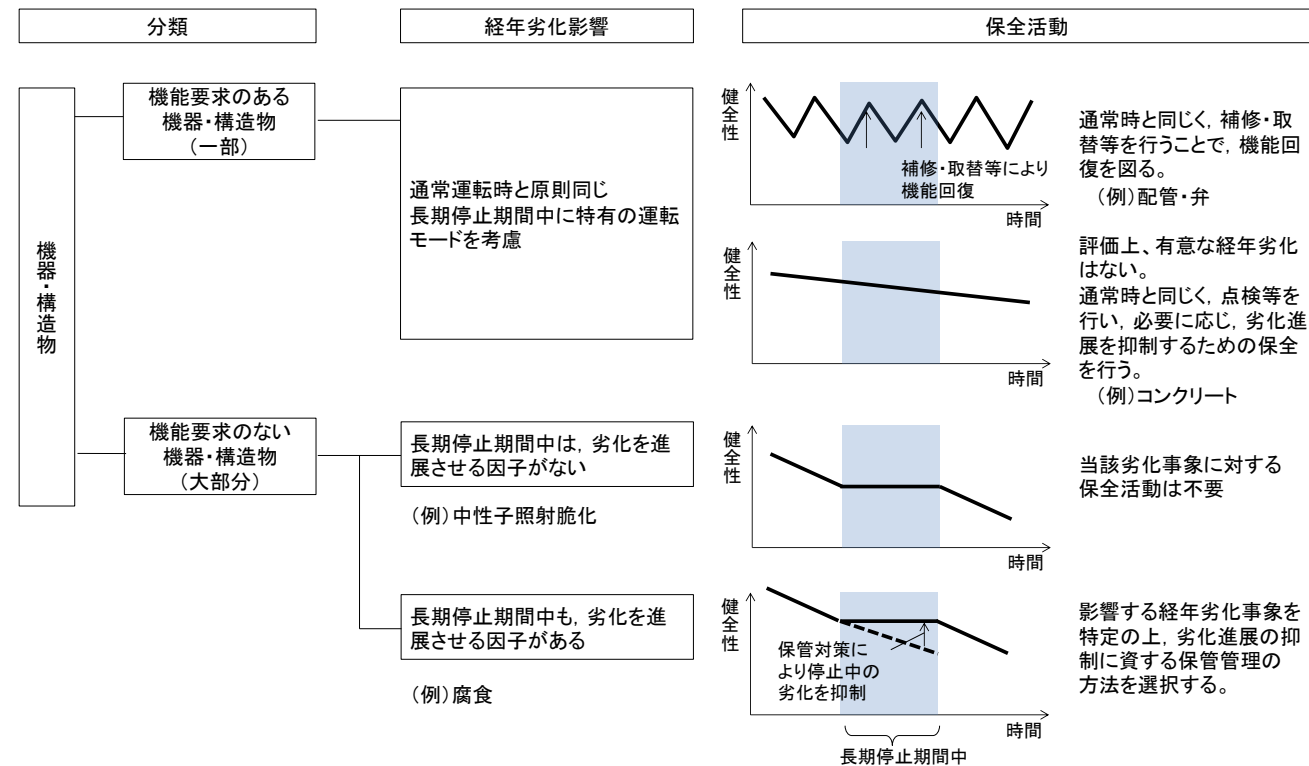
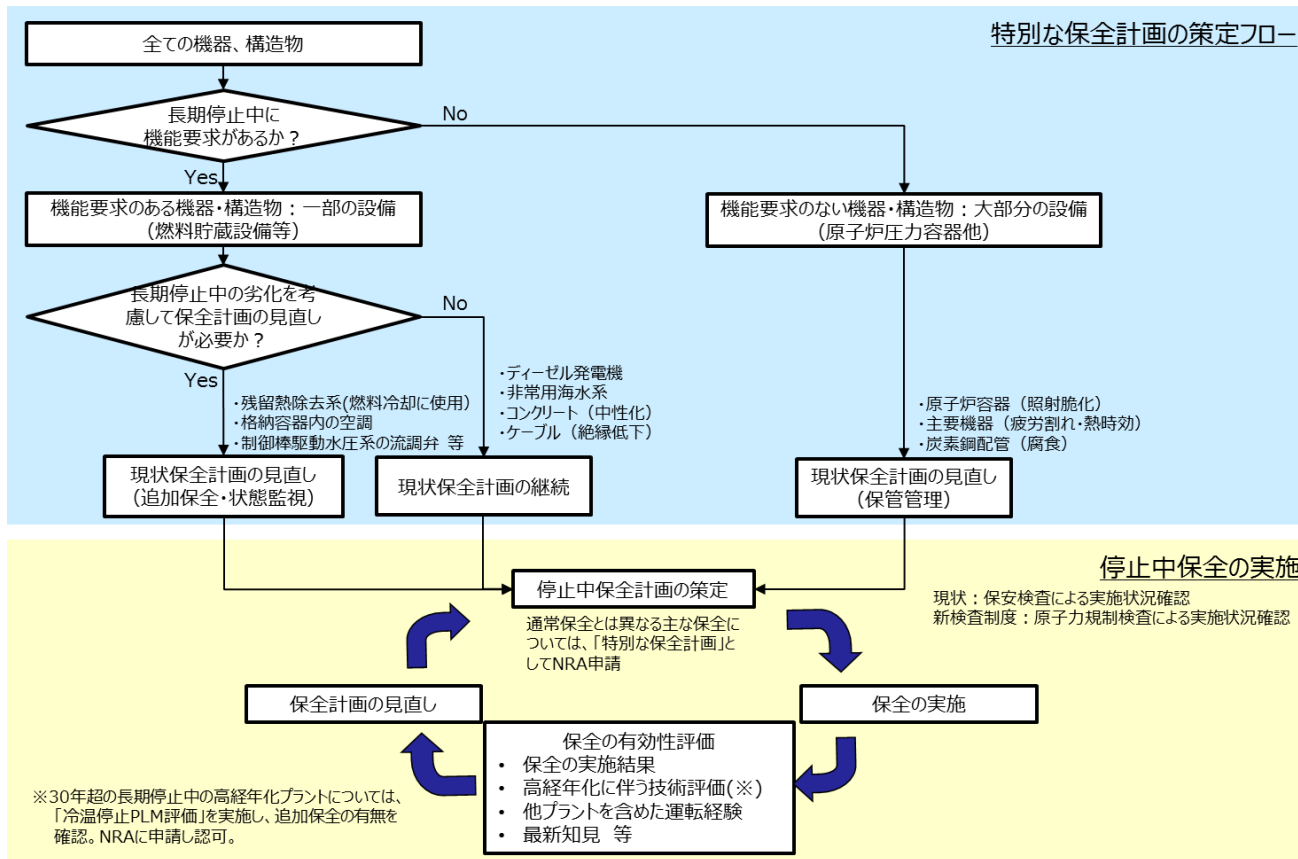
別添A. 取替困難な機器・構造物の保全ポイント

(1) 取替困難な機器・構造物の選定
RV、CV、コンクリート構造物、ケーブル

(2) 停止中の経年劣化と保全ポイントの整理

別添B. 長期停止期間中に考慮が必要な経年劣化事象

(2) 停止時保全(特別な保全計画)への反映



(3) 定着・歯止め策(ATENAの関与)

・ATENAより各社に、ガイドに基づいた保全計画の作成を求め、各社状況をフォロー。